

社会福祉法人だんのさと  
(理念)

暖もりのある笑顔と  
思いやりの心があふれる  
和やかなわが家

(基本方針)

- 1 溫和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

1 経営基盤の安定化

- ① 中長期計画の策定し、職員への周知を図る
  - ・管理者会議等で収支等を報告し、各事業所の稼働率アップに取り組み
- ② 法人組織の体制整備
  - ・執行理事として専務理事、常務理事を指名及び職務執行状況等の報告
- ③ 人材の確保
  - ・離職率の多い中、各事業所の適性な職員配置を確保することが出来た
- ④ 経費の削減に努めた
  - ・備品、日用品等の購入に見積もりを徴し、品質、単価等を考慮し購入した
- ⑤ 人事異動
  - ・人事異動を施行し、各事業所の活性化を図った
- ⑥ 人事考課制度の導入
  - ・人事考課を施行するとともに、自己申告を徴し賞与等に反映した
- ⑦ 食事提供について
  - ・引き続き調理員を雇用して法人直営で食事提供する  
栄養士2名、常勤調理員3名、パート調理員8名で食事提供した

2 人材育成

- ① 人事考課制度による職員育成と人材活用
  - ・適材適所の職員配置を実施した
- ② 自己申告等による職場改善意識の向上
  - ・人事異動
  - ・現在の業務内容
  - ・現在の職場について
  - ・能力開発について
  - ・目標

- ・仕事・職場への意見、提案
- ③ 資格取得のための研修会への参加
  - ・社会福祉士合格 0名 ・小規模多機能施設管理者資格 3名
  - ・介護福祉士合格 0名 ・小規模多機能施設介護支援専門員資格 3名
  - ・手話教室の開催 コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ④ コーチング研修を毎月実施 職員 14名受講
- ⑤ 研修実施 別紙資料

### 3 求められる施設づくり

- ① 人材確保の検討を行う
  - ・採用活動の強化
- ② 自己申告等による職員ニーズの把握及び執行理事による面談により職場環境づくりに反映した
- ③ 入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和み会」「談話会」を毎月開催し、情報提供や入居者から提案、意見、要望を聞き、施設運営に活かし、信頼関係を構築した
- ④嗜好調査を実施し、献立に反映させた
- ⑤ 毎月給食委員会を開催し、食事内容・要望等を協議し、献立に反映した
- ⑥ 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービスの質の向上を図る
- ⑦ 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ機器の導入によるカラオケ、園芸、将棋、野菜づくり、釣り等）、レクリエーション等を実施した
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症防止体制の充実を図るとともに、法人負担により全職員にインフルエンザ予防接種を実施した

### 4 地域との連携を図る

- ① 湖南地区広域総合火災避難訓練の開催
- ② 手話教室に地域住民参加 コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ③ 納涼祭の開催 コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ④ 地域交流バーベキュー
- ⑤ 法人広報紙「だんのさと」年1回発行し、地域、関係機関へ送付
- ⑥ 学生の実習受け入れ コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ⑦ 認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る
- ⑧ こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える
- ⑨ 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティアの活用、湖南学園、保育園の交流を図り、入居者の生活に潤いをもたらせた
- ⑩ 「防火設備の定期検査」結果を市へ報告

## ○役員研修報告（令和2年度）

社会福祉法人だんのさと

※法人内研修・・・コーチ型マネジメント研修（管理者・中堅職員対象）

講師：あだち人材育成研究所代表・足立博俊

月1回／1年間：計12回（令和3年5月～令和4年4月）

実施致しました。

※認知症対応型サービス事業管理者研修（オンライン研修）・・・3名受講修了

※小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修（オンライン研修）・・・3名受講修了

※介護支援専門員更新研修（オンライン研修）・・・2名受講修了

※福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者・中堅・管理者コース）受講修了

○社会福祉施設経営法人連絡会、鳥取県社会福祉施設経営者協議会、県社協総会、老施協総会等は、コロナのため、中止・延期となった。

日程	研修内容	場所	費用	主催
7月17日	繋がる介護は記録から	倉吉体育文化会館	1,000円	鳥取県社会福祉協議会
9月26日	起居・移乗・ポジショニング (新人研修)	福祉人材センター	2,000円	
2月15日	令和2年度特定給食施設等栄養管理実務者研修会	鳥取市役所本庁舎		鳥取市保健所
2月17日	介護処遇改善・特定処遇改善はこう使う	オンライン		リコージャパン
3月3日	福祉サービス苦情解決事業研修会	福祉人材センター		福祉サービス適正委員会



# 令和2年度 事業報告書

施設名：ケアハウス暖の里(本館)

計画項目	具体的な内容
基本項目	施設の理念 暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針 1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生による福祉の実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
	施設の目標 (1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 (2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして 「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。 【コロナウィルス感染対策の一環として、地域交流に関わる行事への参加及び、 従来行っていた、館内でのボランティア団体・小中校生によるステージでの演奏・踊り 披露等を全て実施していません。】
	①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な 福祉サービスの向上に努める。 【居宅介護支援事業所及び、訪問介護・小規模と連携し、必要なサービスを実施 しています。日常生活における要望も隨時、相談し協議の上、改善を図っています。】
	②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「談話会」 を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することに により、施設で安心して生活が送れるように努める。 【和み会を毎月開催し、入居者よりご意見や要望を協議しております。環境改善や 生活の向上に繋がる内容について、可能な限り改善し早急な対応を行っています。】
	③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動 (カラオケ・園芸・読書等)と四季に応じたレクリエーション等を実施する。 【カラオケを少人数で実行しましたが、季節に沿ったレクリエーションは実施 していません。一定期間の休止もありましたが、移動図書の来所が好評で、 継続して借用される方もおられます。】
利用者への サービス提供	④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 【グラウンドゴルフの開催は見送られましたが、体操については、毎日実施しています。 天候の良い日は、施設周辺散歩しておられます。】
	⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見の相談に応じると共に、適切な助言等を 行い心身の安定に努める。 【環境・設備・対人関係等、様々な苦情・要望がありましたが、相談員を中心に 全職員で速やかな解決・改善が行われる様、努力しました。】
	⑥施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 【年度末に、入居者とご家族へアンケートをお渡し(配布・郵送)しています。集計結果を 職員で協議した後、館内に掲示及び、ご家族へ郵送をお知らせしています。】
	①暖の里本館直営(100食調理)になり、新館へ50食が配送されている。 【直雇用となり、2年経過。厨房内の業務についても、概ね円滑に行われています。】

	<p>②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。 【前年と同様に、本館・新館にて行事食を同一日程で提供。季節・行事内容に沿った状況で、食事提供を行っています。】</p>
給食(食育)	<p>③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気作りに配慮する。 【栄養士の栄養相談及び、本人の身体状況により可能な限り個別対応を行っています。疾病による食事対応も、同じく行っています。】</p>
	<p>④嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。 【今年度も嗜好調査を実施。好評な回答を多くいただきましたが、引き続き栄養士と厨房職員を中心とした、より満足度の高い食事の提供に努めます。】</p>
	<p>⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。 【委員会を毎月実施。本館・新館・厨房の意見を基に、人員、厨房機器に関わる事を協議。改善点と早急な解決に努めています。】</p>
事業項目	<p>①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活で頂けるよう努める。歯科については、いながき歯科医院に協力依頼している。 【寺岡医師の往診を中心に、各入居者かかりつけ医院との連携も図り、必要な介護保険サービスの導入により、身体状況が維持できるように支援しています。】</p>
	<p>②健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。 【体調不良の方へ迅速な対応を行っています。日々の様子観察や、必要に応じ居室訪問も定期的に行い、早期発見に努めています。】</p>
	<p>③インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。 【今年度は、インフルエンザ・ノロウイルス発症無く、加えてコロナウイルス対策も継続（年度を通じた次亜消毒を2回/日、面会・外出制限、入館禁止、必要な入館者は検温、アルコール手指等）しています。次年度も引き続き対策を行います。】</p>
	<p>①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 【館内での講習・行事を行っておりません。よって今年度は実施していません。】</p>
	<p>②地震や火災などの災害を想定した取り組み、組織全体で災害対応に努め年3回避難訓練を実施する。 【年3回の避難訓練を実施。有事の際には速やかな避難誘導を行う事が出来るように、様々な状況の訓練を想定しています。】</p>
	<p>③感染症やケガを含む介護事故の事例を個別的に分析し、予防能力に努める。 【職員主体とした各委員を設置。実際に起きた内容の協議及び、事例による検討を行い、認識を深めています。】</p>
	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 【4月は広報誌で本館及び、他法人内の行事を紹介しました。10月については、発行を行っていません。】</p>
	<p>②入居者の方の近況報告を行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 【コロナ禍の中で、積極的な面会の要請は行っていません。定期通院の付添時に報告を行ったり、体調面の報告も電話にて適宜行っています。施設プランの作成時にもご家族と協議し作成後に、結果の郵送を行っています。</p>
保護者・家族への支援	<p>年始の挨拶文の近況を記載し、同じく郵送しています。】</p>

	<p>③施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。        【年度末に、入居者・家族にアンケートを実施。回答について職員間で協議し        その内容も踏まえ、入居者へ結果の公表(掲示)をすると共に、家族へ郵送        しています。】</p>
地域との連携 (地域貢献)	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。        【4月の広報誌により、施設内活動を地域の方へ紹介しました。10月については、発行を行っていません。】</p> <p>②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。        【今年度、合同訓練等の実施はありません。】</p> <p>③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園と        の交流を図り、生活に潤いをもたせる。。        【コロナウィルス感染対策の一環として、地域交流に関わる行事への参加及び、        館内での交流は実施していません。】</p> <p>⑤学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。        ※地域への貢献として生活困窮者への生活支援を推進する。        【今年度、実習受入の実績はありません。】</p>

経営項目	経営管理	<p>①入居率100%確保を目指している。 【退居となられや場合、次の方の速やか入居となる様、業務を行っています。 入院期間が長引いた場合等、あらかじめ次の入居者の準備も行います。】</p> <p>②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら 入居者確保に努める。 【日々の業務で、病院・包括・居宅・他施設等と情報共有を図っています。 待機者の確保に努め、速やかに入退居を実施しました。】</p>
	施設・整備	<p>①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 【照明、暖冷房等が必要時に使用されているか、確認を行っています。 備品の購入も必要な物品と確認し発注。過剰な在庫とならない様にしています。】</p> <p>②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。 【老朽化に伴い、現に故障している物や、今後故障が想定される状況があります。 早期発見を行い、大きな補修とならない様にしています。また、可能な限り職員の 修繕にて対応も行っています。】</p>
	職員管理	<p>職員研修の推進</p> <p>①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベル アップを図る。 【コロナ禍で、外部の研修には参加できません。次年度以降の 課題となります。】</p> <p>②職員の資格取得にチャレンジしていく。 【今年度は、職員の資格取得はありません。今後、必要とする資格の 提案や取得する環境を作る必要があります。】</p> <p>③職員会議等で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的な開催を行う。 【毎月職員研修を実施しています。併せて各委員会も開催し、必要事項の周知及び、 認識を深める様な内容を行っています。】</p> <p>④施設長と職員の意思の疎通を図るために個々に意見交換会を実施する。 【施設長と職員間で、面談を行い意見交換を行っています。また、疑問点や 不安な事は隨時話し合いを行い、解消に務めました。 理事長との面談も実施され法人としての考え方を伺う事が出来ました。】</p>
	資金計画	別紙予算書

# 令和2年度 事業報告書

ケアハウス暖の里新館

## 基本理念

暖もりのある笑顔と 思いやりの心があふれる 和やかなわが家

### (1) 運営方針の基本

- 温和で笑顔あふれる施設の実現
- その人らしい充実した生活の支援
- 地域との共生による福祉の実現
- 人間性豊かな福祉人材の育成
- 活力ある経営の実行

### (2) 入居者の待遇・プライバシーへの配慮

- ①新館心得として、「笑顔とあいさつ」と「明るく楽しく」を前面に打ち出し笑顔あふれる施設の実現に努力し、保護者や来館の方についても「笑顔」で対応し、電話の受け答え方についても改善されている。
- ②入居者の生活と人権を擁護するために、プライバシーを尊重し、公平かつ公正な開かれた施設の実現のために、入居者の方からのご意見をお聴きする「だんわ会（毎月第1土曜日）」を実施して、四季に応じた施設の行事や運営等を説明できる場の設定と入居者からの要望・苦情等のご意見を自由に発言できる場を設けている。だんわ会を重ねる毎に入居者の参加も増えており、職員は、意見を聞きだす立場で参加し、質問・要望等についての回答できる部分はその場で行い、検討する問題については後日職員間で話し合い、入居者用「掲示板」に質問・要望内容、回答内容を開示して周知を図っている。  
また「すぐやる課」を継続し、修繕、要望意見、相談事に対して速やかに行うよう配慮している。

### ③生きがいのある生活の場としての環境作り

- ア 穏やかで心豊かに暮らすためのイベントの実施  
誕生会には誕生者のテーブルに一輪挿しで生花を置き、潤いのある誕生会にするために、職員による歌の演奏会を実施しささやかなプレゼントを贈っている。さらに「希望外出」を上期（4月～9月）、下期（10月～3月）に分けてショッピング・ドライブ・故郷訪問等希望に応じて、楽しみのある生活の場として外出を実施した。
- イ 共通の趣味・興味を通して生きがいを見出せる活動の支援の実施。  
湖山池畔で毎月1回（5月～10月）グランドゴルフ大会を実施し優勝を目指し楽しんでおられ、参加者も増えつつある。また毎週火曜日午後にカラオケを楽しむよう取り組んだ。趣味の手芸で行事等の飾りつけや園芸の協力で玄関前に植物・花を飾って頂いた。

#### ④きめ細やかなサービス提供と自立の推進

身体的、精神的特性に応じた自立のための生活援助及び栄養助言として、ケアマネージャー・ヘルパー・生活相談員・介護職員・栄養士で連携を図り、自立への可能性に向けて生活支援を実施した。食事に関しては、業者委託から法人業務に移行し目立った混乱もなく温かい食事の提供に務めている。食生活においても嗜好調査を行い、入居者のニーズに合った献立により食事を提供した。

#### ⑤第三者による施設サービス評価

第三者評価の受審は今後の検討課題であるが、まず入居者の施設利用アンケートを実施し、入居者からの要望・意向に対してのサービス内容の改善を図ったうえ受審したいと考えている。また家族等へのアンケートも実施し要望に応じて対応した。

### (3) 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修の実施。

#### ①職員が楽しく働きやすい環境を作る。

ア 職員個々のコミュニケーション能力向上を図るための接遇研修を実施した。

イ 職員の不安軽減を図るため、個別に話し合いの場を設定し、日頃からコミュニケーションが取れるよう不安解消に努めた。

#### ②安全と安心した生活のサービス提供するために、各種委員会（苦情解決・事故対応・虐待及び身体拘束・感染症対策・給食委員会等）等を開催し、職員会で研修報告や事例検討し周知を図った。

#### ③法人の施設長会・管理者・事務担当者会議を開催し、会議内容について職員に報告し情報共有を図って頂いた。

#### ④質の高い福祉サービスを提供を図るために、社会福祉の専門職としての専門知識の習得と技術向上を目的に各種研修に参加し職員会議で復命研修を行う。

#### ⑤昨年同様に基本理念の実現に向けた「法人だんのさと中・長期計画」を策定し、当計画に基づいた単年度計画を策定して取組みを継続実施している。さらに、営業推進会議も開催し、安定した経営基盤を図るため、入居者確保の検討と関係機関との連携を行っている。このことにより、利用申し込みが増加してきている。

### (4) 地域開放、貢献等

地域の方との交流を深め、共に支えあい地域社会の中で積極的な役割を担うため、次の活動を予定した。

#### ①ケアハウス納涼祭に地域住民をご招待

湖南地区自治会、湖南地区公民館、湖南学園、湖南保育園等の参加案内を行い多くの地域住民の方々の参加と交流を深める。

#### ②湖南地区サークル活動グループの参加もあり納涼祭も盛大に地域の方々、利用者も楽しいひとときを過ごして頂く。

#### ③地域行事への参加

湖南地区運動会、湖南地区納涼祭、湖南地区文化祭等に参加し、交流を深めた。

#### ④地域交流の一環として、「手話教室」を毎月第三土曜日に湖南児童館との共催で地域住民の参加を得て、地域住民との交流を深める。

以上の事を計画していたが新型コロナウィルスの関係で感染防止や接触を避けるために地域との交流は出来なかつたことは誠に残念でした。

(5) 秘密保持（職員及び過去に職員であった者に対する入居者等の秘密保持の徹底）

職務上知り得た個人情報は外部へ漏洩してはならないことであり、「個人情報保護に関する誓約書」を全職員から徴取し、職員に周知を図っている。

(6) 入居者待遇に係る事故発生の対応

職員は日頃から意識して「ヒヤリハット」報告を随時職員間で話し合いを行い事故防止対策を図っている。事故発生時には速やかに事故報告を鳥取市に提出している。また年3回のリスクマネジメント委員会で報告し法人全体で防止対策を検討している。

(7) 施設の特徴、セールスポイント

- ①入居者の人権を尊重し、心豊かな生活を過ごして頂くために、明るく笑顔を絶やさず、思いやり・真心を込めて接する事で、安全で健康的な暮らしが出来るようサポートしている。
- ②清潔できれいな温泉と四季折々の食材を使用したお料理を提供しています。

令和2年度行事一覧

実施月	行事内容
4	15 抹茶の会 19 獅子舞
5	13 グランドゴルフ 20 生け花
6	3 ちまき作り 10 ホタル観賞 17 グランドゴルフ
7	3 七夕 8 生け花 15 グランドゴルフ
8	5 抹茶の会 17 セレクト食 19 買物外出
9	9 グランドゴルフ 18 敬老会 21 DVD鑑賞
10	5 グランドゴルフ（白兎コース） 12 生け花 21 抹茶の会 14 避難訓練
11	5 結核検診 12 紅葉鑑賞会 18 グランドゴルフ 20 インフルエンザ予防接種
12	13 ゆず湯 23 クリスマス会 27 餅つき 31 年末大掃除
1	13 抹茶の会 14 とんど 27 運動会
2	3 節分豆まき 15 誕生会 17 避難訓練
3	3 ひな祭り・抹茶の会 8 救急救命講習会 22 買物外出 29 花見会食
その他	毎日：リハビリ体操 每週火曜日：カラオケ 隔週水曜日：唱歌 毎週水曜日：訪問販売 第2・4木曜日：寺岡往診 第1土曜日：だんわ会 毎金曜日：暖喫茶 第3月曜日：誕生会 隔月：演奏会

月別利用状況（毎月 1 日現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	利 用 率
男性	14	14	14	15	15	15	16	16	16	16	16	16	183	%
女性	36	35	36	35	32	31	32	34	34	34	33	34	406	%
計	50	49	50	50	47	46	48	50	50	50	49	50	589	98%

利用者年齢状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

	70 歳 未満	70~ 74 歳	75~ 79 歳	80~ 84 歳	85~ 89 歳	90~ 94 歳	95~ 99 歳	100 歳以上	計	平均 年齢
男性	4	1	4	5	2	1	0	0	17	78.1
女性	1	1	0	8	8	12	3	0	33	86.6
計	5	2	4	13	10	13	3	0	50	83.7

利用者介護度状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均 介護度
男性	7	2	5	2	0	1	0	0	要支援 1
女性	5	1	5	11	8	3	0	0	要支援 2
計	12	3	10	13	8	4	0	0	要支援 2

施設内研修

研修日	研修名	研修内容	参加者
6/22	虐待防止委員会	虐待防止について	6 名
8/24	事故防止対委員会	高齢者の事故防止について	8 名
8/24	感染症予防研修会	新型コロナウイルス感染対策について	8 名
11/16	リスクマネジメント委員会	ヒヤリハット報告について	7 名
3/22	リスクマネジメント委員会	ヒヤリハット報告について	8 名
3/22	苦情解決委員会	苦情について	8 名

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染対策から始まり事業計画したものの予定が未定に終わった 1 年であった。特に行事の見直しや研修会に於いては延期や中止が多くみられた。地域との交流事業も安全を優先し実施出来ず、利用者を守るための面会・外出も禁止した。

次年度も感染が収まらない限り、事業の見直しや新しい生活様式を考慮し状況に応じた運営を再検討する必要と思われる。

1 さとに 暖の里

(1) 施設の現況及び今後の対応課題等

① 安定経営に向けて。

令和3年3月31日現在 登録者25名に対し20名。令和3年9月中に登録者数は25名になる予定。3年4月スタート時は18名。昨年度同様、こやま包括、日赤、等の紹介に加え、国立医療センターからの紹介もあった。要支援の方が25名定員に対して7名と今までの要介護の方に加え定員数の増加と確保に繋がっている。

エリア別では世紀団地地区、吉岡、浜坂、賀露、湖山町南、伏野、徳尾、下味野、布勢、行徳、宮谷、栗谷、宮長など昨年度よりもさらにエリアも拡大してきた。エリア拡大に伴い送迎、訪問時の職員の分散化が著しくなっている(31年度は8エリア、令和3年度は12エリア)。それに加え、分散化による日中活動の低下もあり、リハビリのスタッフを中心に活動を行っているが要支援等の状態が軽度の方は活動内容に物足りない状況もある。

設備では入浴設備の浴槽も令和2年度は大きな故障は無かったものの浴室の非常表示器2か所の故障があった。令和2年度トイレの詰まり、故障があった場合の経費はかかったが故障回数は少なかった。水道代、ガス代の光熱費の増加傾向である。浴槽が一度ずつ湯を流し捨てるタイプの物のため水道費等も上がっている。

② 業務の効率化

小規模多機能としての機能、機能訓練、広報(ツイッター、インスタグラム)を強みに利用者を獲得してきている事実はあるものの、業務の効率化により事故の防止、業務の効率化を行っていくことが必要となってきており、勤務時間の変更や業務を変えていくことで対応を図ってきたが次年度も継続し行っていくことが必要となる。

コロナ禍の為、家族様、来客の面会が制限される為タブレット端末によるweb面会を取り入れていくなど検討している。

③ スタッフのレベルアップ。

令和2年度もスタッフの退職、体調不良等がありその日その日の業務を回すことで手いっぱいだった。必要な研修にはなるべく参加ができるよう手配をしていきたい。コロナ禍の影響で外部研修が中止になるなどなかなか行えなかつた。

職員が、同じクオリティでケアが出来るように、統一した研修を行う事で介護サービスの質を向上させる事を目的としていきたい。

## (2) 主な行事

4月	誕生日会・花見ドライブ
5月	誕生日会・こどもの日
6月	行事食
7月	誕生会・七夕祭り
8月	納涼祭
9月	誕生会・敬老会
10月	誕生会・紅葉狩り・松保展示会
11月	誕生会・行事食
12月	誕生会・クリスマス会・忘年会
1月	誕生会・新年会
2月	誕生会・節分
3月	誕生会・ひな祭り

## (3) 年度末の利用状況

①入居者（利用者）定員： 25 登録者数： 22

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	1		1	2		1				
女性			2	4	5	3	2		16	
計			3	6	5	4	2		20	

## ②入居者（利用者）介護度状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男性				2	1	1		3	
女性	4	3	5	1	2	1		16	
計	4	3	5	3	3	2		20	

## ①月別利用状況

## ア（さとに 通所）【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率

令和2年度 事業報告書 様式

4月	30	301	10.03	66
5月	31	227	7.32	48
6月	30	299	9.9	66
7月	31	302	9.7	64
8月	31	321	10.3	71
9月	30	343	11.4	76
10月	31	289	9.3	62
11月	30	269	8.9	59
12月	31	354	11.4	78
1月	31	336	10.8	72
2月	28	285	10.1	67
3月	31	277	8.9	59
計	365	3603	9.87	65

イ (さとに 宿泊) 【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	143	4.7	53
5月	31	138	4.5	49
6月	30	81	2.7	30
7月	31	73	2.3	26
8月	31	95	3.06	34
9月	30	102	3.4	37
10月	31	76	2.45	27
11月	30	87	2.9	32
12月	31	151	4.87	54
1月	31	158	5.09	56
2月	28	116	4.14	46
3月	31	79	2.54	28
計	365	1303	3.56	39

イ (さとに ヘルパー) 【延べ利用時間数】

月	営業日数	件数	1日平均

令和2年度 事業報告書 様式

4月	30	272	9.06
5月	31	279	9.0
6月	30	267	8.9
7月	31	228	7.3
8月	31	227	7.3
9月	30	215	7.1
10月	31	212	6.8
11月	30	205	6.8
12月	31	190	6.1
1月	31	182	5.8
2月	28	173	6.1
3月	31	193	6.2
計	365	2092	5.7

# 令和2年度事業報告書

デイサービスセンター暖の里

## 基本理念

- ・暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家

## 基本方針

- ・温和で笑顔あふれる施設の実現
- ・その人らしい充実した生活の支援
- ・地域との共生による福祉の実現
- ・人間性豊かな福祉人材の育成
- ・活力ある経営の実行

### ① 利用者の状況（令和2年度）

\*利用状況は前年度と比較して僅かですが減少しています。週3回利用・週2回利用の方3名の入院、新館の方2名の利用中止等が原因です。

\*総利用者数も元年2,279人 2年2,229人と50人の減少が見られます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者登録数	21	20	20	21	22	23	22	22	22	23	23	23
総数	190	178	185	191	191	201	198	180	186	161	171	197
%	86.4	84.8	84.1	83	91	91.4	90	85.7	84.5	80	85.5	85.7
支援1	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	1人	1人	1人	1人
支援2									1人	1人	1人	1人
介護1	8人	7人	8人	9人	8人	8人	8人	7人	8人	6人	7人	9人
介護2	6人	6人	5人	5人	7人	8人	8人	7人	6人	9人	9人	8人
介護3	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	4人

### ② 行事一覧

\*毎月デイ喫茶を実施し職員と一緒に楽しんで頂いています。

\*コロナ禍の影響もあり年間を通じ室内で行事を工夫し楽しんで頂くようにしました。

#### \*日々のサービス

毎月の展示物の作成
季節の塗り絵
言葉探しクイズ
カレンダー作成
計算問題 豆運び
月の歌 パズル
カラオケ オセロゲーム

リハビリ体操	屋外の散歩
下肢体操	
リズム体操	
北国の春体操	
タオル体操	
レクレーション	
ペタルこぎ	

実施月	・誕生会は毎月お祝いをする。(プレゼントを用意)
4	・デイ喫茶
5	・デイ喫茶 ・鯉のぼり作成 ・そら豆皮むき
6	・デイ喫茶 ・ちまき作り
7	・七夕祭り(7/1~7/7) ・おやつ作り(フルーチェ) ・デイ喫茶
8	・夏のお楽しみ介 ・デイ喫茶
9	・敬老会 ・デイ喫茶
10	・ドライブ(10/1~10/11) ・デイ喫茶 ・日光浴しながらのおやつタイム
11	・デイ喫茶
12	・クリスマス(12/23~12/27) ・デイ喫茶 ・餅つき大会
1	・初詣 ・デイ喫茶 ・すごろくゲーム大会(1/6.7.8)
2	・豆まき ・バレンタイン ・デイ喫茶
3	・花見ドライブ ・デイ喫茶 ・散歩

### ③職員研修の取り組み

#### 施設内研修

月1回の職員会議の実施において、情報の共有・確認を行い常に利用者様に寄り添う支援が行えるように計画的に研修を実施した。

運営推進会議は9月、3月(書面での会議)に開催しました。

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
4月13日	デイ職員会議	5月の計画・状況報告・個人情報	全員	6名
5月11日	デイ職員会議	6月の計画・状況報告・ヒヤリハットの検証	全員	6名
6月15日	デイ職員会議	7月の計画・状況報告	全員	6名
7月13日	デイ職員会議	8月計画・状況報告・食中毒研修	全員	6名
8月17日	デイ職員会議	9月の計画・状況報告・コロナ対応マニュアル	全員	6名
9月14日	デイ職員会議	10月の計画・状況報告・記録	全員	6名
9月26日	運営推進会議	地域密着型推進会議		9名
10月18日	デイ職員会議	11月の計画・状況報告	全員	6名
11月16日	デイ職員会議	12月の計画・状況報告・誤嚥防止	全員	6名
12月11日	デイ職員会議	1月の計画・状況報告・身体拘束	全員	6名
1月18日	デイ職員会議	2月の計画・状況報告・移乗動作	全員	6名
2月19日	デイ職員会議	3月の計画・状況報告・年間ヒヤリハット	全員	6名
3月17日	デイ職員会議	4月の計画・状況報告	全員	6名
3月末日	運営推進会議	地域密着型推進会議		9名

#### 施設外研修

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
7月17日	記録研修	繋がる介護は記録～	吉田	1名
3月3日	苦情解決	苦情解決について	長谷川	1名

## まとめ

- ※
  - ・笑顔で明るいディサービスになるように職員一同協力していく。
  - ・職員同士意見交換を図りながら、優しい言葉使いと、もてなす心を忘れずゆったりとした気持ちで過ごせるように努力していきたい。
  - ・昨年の反省も含めて、なかなか参加できなかった外部研修受講に取り組みスキルアップに繋げる。
  - ・月の職員会議後に内部研修を開催する、内容は職員持ち回りで実施する。
  - ・10名達成に努力します。（外部への営業、本館、新館での新規獲得）
  - ・コーチング研修で習得できたスキルを活かし明るい環境作りに取り組む。

## 令和2年 事業報告

ホームヘルプステーション暖の里

### (1)月別利用状況

<述べ利用時間数>

月	日数	訪問介護		総合事業		合計		平均介護度
		件数	時間	件数	時間	件数	時間	
4月	30	895	739	129	126	1024	865	1.6
5月	31	960	813	127	124	1087	937	1.7
6月	30	865	733	119	116	984	849	1.9
7月	31	885	746	126	123	1011	869	1.6
8月	31	889	744	122	119	1011	863	1.7
9月	30	872	716	143	139	9015	855	1.7
10月	31	959	782	150	144	1109	926	1.6
11月	30	952	760	146	141	1098	901	1.6
12月	31	1037	820	154	148	1191	968	1.6
1月	31	1000	785	143	138	1143	923	1.6
2月	28	888	704	132	127	1020	831	1.6
3月	31	932	761	147	141	1079	902	1.6

### (2)職員研修

内部研修:全員に研修できた。当日欠席の職員には責任者が伝達研修を行った。

外部研修:9月26日上田ヘルパー、新人研修、澤井ヘルパー、網師、コーチング研修に参加した。

### まとめ

総合事業の方に関しては大きな増減はなく、利用がありました。訪問介護は入居者の入院や退去により減収はありましたが、利用者の方の状態の変化や重症化で、10月から1月までは利用回数が増加し増収となりました。外部の利用はありましたが、利用者数は増加しませんでした。今後は外部の利用者数の増加、技術、知識等日々職員のレベルアップを目指し努めていきたいと思います。

令和 2 年度 事業報告書

居宅介護支援センター暖の里

令和 3 年 5 月 11 日

①月別利用状況（居宅支援）【延べ利用件数】

月	要支援			要 介 護						計	認定 調査
	1	2	計	1	2	3	4	5	小計		
4月	1	11	12	27	20	14	3	1	65	77	5
5月	5	10	15	26	20	14	2	1	63	78	2
6月	5	10	15	27	20	14	2	2	65	80	7
7月	4	10	14	26	19	14	1	1	61	75	9
8月	4	12	16	24	21	13	2	1	61	77	6
9月	4	14	18	25	23	14	1	3	66	84	5
10月	1	14	15	26	25	12	1	1	65	80	7
11月	4	14	18	26	23	12	1	1	63	81	8
12月	3	14	17	25	25	13	1	2	66	83	3
1月	3	14	17	26	25	14	1	3	69	86	4
2月	3	14	17	28	28	11	0	3	70	87	7
3月	3	15	18	30	25	11	0	2	68	86	4
計	40	152	192	316	274	156	15	21	782	974	67

- 要支援 1 に事業対象者含む

(今後の課題)

令和 2 年度の利用者数の推移は上記の通りである。

多職種（医療、リハビリ）との連携を強化し自立支援に資するケアマネジメントの構築をはかる。

地域包括センターとの連携の強化を図り、地域で支える視点でケアマネジメントの質の向上に努めたい。

